

2020年度 第1回 学校関係者評価委員会 議事録

日時：2020年6月24日(水) 15:00～16:30

場所：岩国YMCA国際医療福祉専門学校 1階 会議室

出席者：宇都宮 幹二 卒業生保護者

津川 智一 医師会病院事務部長

大場 紳一 みどり荘事務長

江見 享子 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 学校長

福水 美恵 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 特別顧問兼校長補佐

矢野 正博 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 事務長

金澤 暁民 岩国YMCA国際医療福祉専門学校 自己点検・自己評価委員会委員長

欠席者：白銀 優子 岩国中央病院 総看護部長

高重 美智子 岩国みなみ病院 看護師長

報告事項・協議事項

1. 報告事項

1) 2020年度入学生の状況報告

保健看護学科：40名、 看護学科：26名

医療秘書学科：16名 介護福祉学科：23名（内、留学生6名）

※ 介護福祉学科の留学生：ベトナム4名、中国2名（ただし1名は現在来日できていない。）

2) 2020年4月からの入所定員変更について

看護学科：25名。 介護福祉学科：25名。 医療秘書学科：20名。

※上記3学科は近年定員充足率が低い状態を考慮し、上記3学科の定員を減数した。

※医療秘書学科については、2021年度から募集停止とする。

3) 高等教育無償化について

現在書類を提出し、申請中である。

4) その他

(1) 現員学生総数：260名

(2) コロナ対応について

・国の緊急事態宣言を受けて4月15日～5月15日まで休校。

・休校中、オンデマンドで遠隔授業を施行した。

学生でPCを持っていない者もいたが、スマートホンにて対応できた。

留学生については、学校に来校してもらい対応した。

・保健看護学科は、他学科に比べ学生数が多いので、3密を少しでも避けるため学内の広いスペースを教室として使用中である。

・実習については実習施設の協力で、一部は臨地実習ができていますが、それ以外は『実践活動外実習』として、学内で工夫して実施している。

・教員室も、3密を防ぐため、介護福祉学科と医療秘書学科は7階に移動し、2階の教員室は保健看護学科と看護学科にしている。

II. 審議事項

- 1、2019年度 自己評価アンケート結果について 別紙資料により説明
 - 1) アンケート結果の概要に基づき学校関係者評価委員の意見を集約
 - 2) 学納金の納入については1割程度の学生が分割納入している現状である。
 - 3) 評価項目11の「国際交流」の評価が他のカテゴリーに比して低い件について、外部委員からその理由についてと、学校名が国際医療福祉となっているが特別なことをしているのかという質問があった。ドイツとハワイの高校生等とで毎年交互に交流している。その他は広島YMCAの留学生との交流を行っている。
 - 4) その他の意見は別紙の通りである。
- 2、2019年度 学生の実態・満足度調査アンケート結果について 別紙に資料より説明
 - 1) 別紙は学科全体の平均であるが、学科別・学年別の結果も出している。
学科ごとにそれぞれ特徴もあることが補足説明された。
 - 2) 別紙の結果については、学生にも公開することが説明された。
 - 3) 「コンピュータ環境」について、OA教室は、感染防止のため一つ置きに使用するよう指導していること、またアクリル板を設置する予定であることが補足説明された。
- 3、2019年度 授業評価結果について。 別紙資料により説明
 - 1) 科目終了時に学生による授業評価を実施している。結果はおおむね良好である。
専任教員だけでなく、非常勤講師の協力も得て実施している。
評価結果は本人に伝え、今後の授業に反映してもらうよう指導を行っている。